



念じられ 照らされて

至冷なる悲郷

中山善雄

来年(二〇二三年)私たち真宗大谷派は、宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要をお迎えます。その慶讃テーマとして掲げているのが、「南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」という言葉です。このテーマは、人として生まれたことにどのような意味や願いが託されているのかを問うています。同時に私は、そのことを考えることなく日常に埋没している自分自身が、果たして「人」として生きていくといえるのか、とテーマから問われているようにも感じています。

「現世に地獄を作る人でなし」という川柳が掲載されていました。地獄などというと夢幻のように思いがちですが、私たちは現世に自ら地獄を作り出しているのです。その私たちが果たして人であるといえるのか。川柳は、そのように問いかけているようにも感じられます。私たちが確かであると思いついてこの世間、そして私という存在こそが壊れゆく夢幻であり、実在しているのはむしろ地獄の世界ではないかと――。

先月(八月)には、多くの方がお盆をお迎えされたことと思います。お盆は元々、盂蘭盆会といわれ、お釈迦さまのお弟子である目連尊者が、餓鬼道をさまよっている母を供養することから始まったと伝えられています。餓鬼道が表しているのは、常に餓え、決して満足することのない欲望の世界です。その欲望を満たすために利用しあい、人を優劣で価値づけ、身心を引き裂き合っているのが、私たちの作る地獄であるでしょう。

また、今月には彼岸会が勤められます。彼岸の日には、太陽が真西に沈みます。その日没に滅びと死を想い、また西方浄土を想うのが彼岸会の意味であるでしょう。「私が」という思いに執着し、善し悪しを争い合うこの世間が、すべて壊れゆく幻の世界であることを、日没と西方浄土から照らし出されるのです。



＜略歴＞
1976年、埼玉県生まれ。大谷専修学院指導補を経て、現在は教学研究員。

私たちの真の故郷、そこから生まれそこへ帰るゆく終の帰依処としての浄土はどこにあるのか。それは他ならない、幻の現世に執着して地獄を作り出すことの痛ましさを照らされ、悲しみを感ずるところに浄土があらわれているのです。

秋季彼岸会。永代経法要

9月20日～26日
午後1時から勤行・法話

26日(月)	三枝	正尚氏(随縁寺住職)	「人と生まれたことの意味をたずねていこう」
25日(日)	内記	浄氏(往還寺住職)	「一つの世界・二つの世界」
24日(土)	小原	正憲氏(専念寺住職)	「本願力にあいぬれば」
23日(金)	三島	多聞氏(別院輪番)	「仏のみ名のもとに」
22日(木)	春國	文春氏(玄興寺住職)	「往生極楽の道を問ひ聞かん」
21日(水)	旭野	康裕氏(永養寺住職)	「あなたほどのような親鸞さんに出会っていますか」
20日(火)	橘	出氏(駐在教導)	「我が名を称えよ」

報恩講

〔十一月一日〕
真宗公開講座
時間 午後6時から
講師 細川好圓氏
テーマ 「立教開宗」
参加費 500円

〔十一月二日〕
ハープ演奏
時間 午後2時
演奏者 森清 奏子氏
(連夜法要後)

〔十一月三日〕
御伝鈔の夕べ
時間 午後6時半
伴奏者 曾爾テラワキ

〔十一月三日〕
帰敬式
時間 午前9時半

第2回 ご坊文化芸術祭 (秋季彼岸会併催)

Inochi 日本在住ウクライナ人アーティストによる命の表現
—— ウクライナ人道支援プロジェクト ——
展示期間：9月20日～26日 会場：高山別院

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 御修復懇志金の御礼

2016年よりお願いしておりました高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要に伴う御修復懇志金につきまして、飛騨一円のご門徒さま、有縁の方々、各寺院住職・寺族のご理解とご協力により多大なるご懇念を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

おかげさまで御遠忌法要及び記念事業を完遂することができました。ここにその収支決算を提示いたしますのでご確認いただきますようお願い申し上げます。

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 特別会計収入支出決算書 (2016年1月1日～2022年6月30日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
項目	決算額	項目	決算額
1. 懇志金	440,350,287	1. 法要教化費	52,397,072
2. 法要御香儀	10,044,961	2. 記念事業費	436,285,000
3. 冥加金	5,632,000	3. 奨励費	5,503,513
4. 回付受金	51,600,044	4. 広報記録費	5,078,893
5. 助成金	27,000,000	5. 事務所費	3,268,242
6. 雑収入	34,033	6. 予備費	27,012,605
合計	534,661,325	合計	529,545,325

収入総額 534,661,325円
支出総額 529,545,325円
差引残高 5,116,000円
余剰金は高山別院会計へ

仏教×グリーンフケア

尾角 光美

坊守さんとグリーンフ

みなさんはお寺にお参りに行かれたときに、坊守さん(住職の配偶者)と接していると思うのですが、坊守さんは、自分自身や他者のグリーンフをどのように経験しているのでしょうか。

私は以前「お寺の女塾」という、坊守さんをはじめとしたお寺に関わる女性を対象に、グリーンフとセルフケアを学べる講座を開催しました。その時の反響は大きく、東京と、関西で行ったのですが、いずれのクラスもまたたく間に定員が埋まったことを覚えています。それだけ学びのニーズは高かったのでしょうか。

印象的だったのは、講座が終わったときの感想で、「住職に送ったとき、ある坊守さんは「大きな」とです。ある坊守さんは「大きな」とです。ある坊守さんは「大きな」とです。

家族だから、亡くなったら私も悲しいし、寂しい」と。一方で、中にはご遺族へのお声かけに戸惑う坊守さんもいます。

「ちょっと一服、お茶でも飲んでいかれませんか」と声かけをすることも、そこにどうう人が亡き人を想い、グリーンフを大切にすることがつながります。

別院定例法座

午後1時から

3日 三目のご坊

9月 講師 杉野 明真氏 (照蓮寺住職)

講題 「なむあみだぶつは阿弥陀さまからのお薬」

10月 講師 北條 秀樹氏 (了泉寺住職)

講題 「聞こう!」

28日 親鸞聖人ご命日法座

9月 講師 夏野 了氏 (満成寺住職)

講題 「願いに生かされて」

10月 講師 小原 正寛氏 (専念寺副住職)

講題 「真実信心」

ひだご坊

一口法話

URL: https://hidagobo.jp/sermon/ 9月1日から10月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 春國 文春氏 (玄興寺住職)
三木 朋哉氏 (浄福寺住職)
橘 出氏 (岐阜高山教区駐在教導)
畑 亮徳氏 (願徳寺住職)
小原 正憲氏 (専念寺住職)
窪田 純氏 (圓徳寺住職)
内記 洸氏 (往還寺副住職)
伊達 晴香氏 (稱讚寺坊守)
森 香里氏 (秋聲寺坊守)

大谷婦人会 定例法座

9月11日(日)

講師 白尾公信氏(了心寺住職)

10月11日(火)

講師 三島多聞 別院輪番

いずれも午後1時から

山都印刷株式会社

TEL 0577-311495

自主出版 編集・出版までお手伝い致します
ブックス・アイオー
人生百年・前向き痛快エッセイ!
「90歳になっても、楽しく生きる」
樋口恵子著



お仏壇 ほりお
TEL 0577-33-6686

- 法事に必要なものって?
仏具の配置って?
輪灯球をLEDにしたい
お仏壇を小さくしたい
お仏壇を処分したい
などなど

お仏壇のプロにご相談ください。



久寿玉 KUSUDAMA
秋限定 ひやおろし 発売中
TEL 34-0010



ドローンを使ってみよう
TEL 090-3530300

お墓の修繕
高山墓石店
TEL 090-7677-4883

次号の『ひだご坊』発行は11月1日となります。
『女と男のナムアミダブツ』
126頁 価格: 800円

お墓の悩みや気になること相談してみませんか。
些細なことでも気兼ねなくご相談ください。
お墓の「困った」を解決します!!

株式会社 奥田石材 OKUDA
TEL 0577-33-9601

寒いタイルの浴室を「そのまま暖めたが/フォーム」
TEL 32-2577

慈愛・共なる灯り
高山電気工事株式会社
TEL 0577-35-1005